

● 国際人間学研究科 国際関係学専攻（高専修免（公民））

国際人間学研究科では人文系諸科学と社会系諸科学の全体分野を展望する位置に立って、広く人間科学のフロンティアを拡大し、グローバルかつローカルな諸問題に挑戦できるような知的・創造的能力を養い、生活世界の様々な現場から高度な社会貢献を目指した実践的研究を遂行できる人間を育成するべく教育の充実を図ってきました。

国際関係学専攻では、政治学、経済学、社会学、人類学などを基盤として理論と実際、思考力と応用力のバランスを取りながら、広く国際政治、国際経済、人類文化上の諸問題、さらには同時代的な人間と社会の諸問題、平和構築、国際協力等の具体的・実践的な諸課題に取り組むことのできる高度専門職業人、有識社会人及び教育研究者を育成することを目標としています。

教員養成に対しても、国際社会における現代的な諸課題に関する高度な見識を深めるとともに、人類文化・社会の多様性の認識の上に立った個別の民族や国家の社会文化的個性の探求により、人類文化の総合的な理解を深めることで、現代国際社会の成り立ちと現状を俯瞰的・総合的に高度な分析ができ、それを適確に次世代に伝達できる人材を育成することを目標としています。

とくに、教職免許の「高専修免（公民）」は、政治学、経済学、国際法、文化人類学、社会学といった分野にかかる専門的な社会科目を配置するとともに、国際社会を総合的に理解するために必要な、国際政治学特論、国際経済学特論、国際社会学特論、文化人類学特論など多くの科目が配置されています。これらの科目を履修することで、現代国際社会を高度に読み解き、伝達する能力を身につけることができるとともに、高校で「公民」を教えるための教養と専門性が養えるでしょう。

2018 年度版

●国際人間学研究科 言語文化専攻（高専修免（英語）（国語）・中専修免（英語）（国語））

国際人間学研究科においては、社会文化の中の人間を地球規模で統合的に研究し、新領域創出に向けた学問分野「国際人間学」（Global Humanics）の探求と構築を目的としています。

言語文化専攻では、人間の言語文化を基礎とする、社会・文化などの事象や活動を対象とする複合的・総合的教育研究を行い、教育の過程を通じて、学生の自発性や知的・創造的能力を養います。豊かな教養と言語文化について専門的かつ体系的に理解した有為な人間の育成、社会へ貢献できる人材の育成を目指しています。

言語文化専攻における教職課程は、「英語」、「国語」に関して、それぞれ英語圏言語文化コースと日本語日本文化コースに設置されています。「中専修免（英語）」「高専修免（英語）」の教科指導に関する科目として「応用言語学特論 A/B」「英米文学特論 A/B/C/D」「英語教育法特論 C/D」「英語学特論 A/B/C/D/E/F/G/H」「応用言語学特論 C/D」「英語教育法特論 A/B」が設置されており、英語、英語教育及び言語についての専門的知識と応用力を養います。「中専修免（国語）」「高専修免（国語）」の教科指導に関する科目として、「日本語学特論 A/B/C/D」「古典文学特論 A/B/C/D」「近代文学特論 A/B/C/D」「伝承文芸特論 A/B/C/D」「日本芸能特論 A/B/C」「国語教育特論」が設置されており、日本語、国語教育、日本文学及び日本文化についての専門的知識を修得することができます。教科を取り巻く文化的、社会的、歴史的背景について知識の深化を可能とする科目を設置することで、基礎的な教科や教科指導に関する専門的知識のみならず、人間・社会・文化の諸問題を国際的視野から統合的に把握する基礎的能力を涵養し、豊かな知識と人間理解を備えた「英語」「国語」教科教育が可能な人材を育成できると考えています。

●国際人間学研究科 心理学専攻（高専修免許（公民）・中専修免許（社会））

国際人間学研究科においては、社会文化の中の人間を地球規模で統合的に研究し、新領域創出に向けた学問分野「国際人間学」（Global Humanics）の探求と構築を目的にしています。

心理学専攻では、教育心理学，認知心理学，学習心理学，知覚心理学，社会心理学などに関する分野ならびに臨床心理学，障害児心理学，カウンセリングなどの治療教育，適応行動に関する分野の教育研究を通じて，社会に貢献できる人材を育成しています。また，学校心理学を専門とする高度専門職業人・知識人として学校現場でその能力を発揮できる人間ならびに教育研究者も育成しています。

教員養成に対しても、心に関する幅広くかつ高度な専門知識に加え，心について客観的に理解するための研究手法、さらには心の問題解決のための具体的な手立てや高度な技能を習得することを重視しています。これにより、教育者の資質として要求される個々の子どもたちへの深い理解力，ならびに様々な教育実践活動を適切に行っていくための技能・教育力を兼ね備えた教員を輩出することを目標としています。

また、心理学専攻で取得可能な教職免許の「高専修免許（公民）」「中専修免許（社会）」取得のための教職に関する科目には教育心理，学校教育，生徒指導，学校カウンセリング，発達心理，学習指導，心理検査といった教職に関する専門的・実践的知識を習得する科目を配置するとともに、「高専修免許（公民）」では人間の心のあり方，ものの見方，考え方，そして，その探求方法に関する専門科目を、「中専修免許（社会）」では教師と生徒のコミュニケーションや集団行動に関する専門科目を配置しています。こうした科目を履修させることにより，現代社会の諸相および課題について人間の心のあり方や行動様式の特徴についての高度な専門的知識を有するとともに，教育の実践的知識・技能を身につけた高校の「公民」と中学の「社会」の教育者を育成します。

●大学院国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 (高専修免許(地理歴史))

国際人間学研究科においては、社会文化の中の人間を地球規模で統合的に研究し、新領域創出に向けた学問分野「国際人間学」(Global Humanics)の探求と構築を目的としています。

歴史学・地理学専攻では、歴史学と地理学を両軸として、時間的意識と空間的意識を統合した知識と教養の修得を目指しています。そのため歴史学を主専攻とする者は地理学を副専攻として研究し、地理学を主専攻とする者は歴史学を副専攻として研究することを奨励し、グローバル化とローカリゼーションが同時進行する現代社会の歴史進行を的確に判断できる人材、グローバルに考え、ローカルに行動できる高度専門職業人並びに教育研究者を育成しています。

教員養成に対しても、歴史学と地理学に関する幅広くかつ高度な専門知識に加え、歴史的事象や空間的事象について客観的に理解するための研究手法、さらには現代社会が直面する諸問題を解決のための具体的な手立てや高度な技能を習得することを重視しています。これにより教育者の資質として要求される教科指導力、ならびに様々な教育実践活動を適切に行っていくための技能・教育力を兼ね備えた教員を輩出することを目標としています。

また、歴史学・地理学専攻で取得可能な教職免許の「高専修免許(地理歴史)」取得のための教職に関する科目には、歴史学分野では日本史・西洋史・東洋史の各時代・各地域に関する科目に加え、思想史・技術史・文化史・美術史といった分野別の科目を配置し、地理学分野では人文地理学・自然地理学に関する科目と共に、様々な情報を地理学的に分析する地理情報学を配置しています。こうした科目を履修させることにより、現代社会の諸相および課題について歴史学と地理学の両面からアプローチするための高度な専門的知識を有するとともに、教科指導や教材開発などの実践的知識・技能を身につけた高校の「地理歴史」の教育者を育成します。